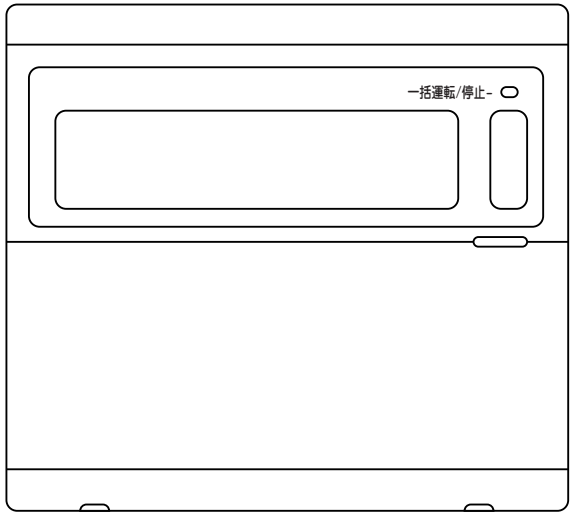
MITSUBISHI

三菱電機 ビル 空調管理システム

システムリモコン

形名　PAC-SF44SR-W

取扱説明書



ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ　　ページ

1．安全のために必ず守ること……1
2．各部の名称とはたらき……3
　2-1　外観 ……3
　2-2　表示部 ……4
　2-3　操作部 ……5
3．操作方法……6
　3-1　一括設定／モニタ画面・グループ別設定／モニタ画面 ……6
　3-2　各種設定方法 ……7
4．異常が発生した場合 ……15
　4-1　「一括運転／停止ランプ」と「異常コード」が点滅している場合 ……15
　4-2　「グループ別運転状態表示」と「異常コード」が点滅している場合 ……16
5．外部入力信号が入力された場合 ……17
　5-1　緊急停止モード……17
　5-2　禁止入力モード……17
6．初期設定 ……18
　6-1　本機が上位システムの場合……18
　　6-1-1　グループ設定……19
　　6-1-2　連動機設定……22
　　6-1-3　一括抹消……25
7．異常履歴モニタ ……26
8．機能設定 ……27
　8-1　上位システムコントローラと併用する場合……27
　8-2　手元リモコン操作禁止機能を本機から行なう場合 ……27
　8-3　本機以外のシステムコントローラを操作禁止にする場合 …27
　8-4　設定温度表示を「華氏表示」に変更する場合……27
9．外部入出力使用方法 ……28
　9-1　外部信号入力機能 ……28
　9-2　外部信号出力機能 ……30
10．システム制約事項について ……31
11．仕　様 ……32
　11-1．製品の機能 ……32
　11-2．本体仕様 ……33

1.安全のために必ず守ること

●ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●お読みになった後は、据付説明書とともにお使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書と据付説明書をお渡しください。

⚠ 警告

お客さま自身で据付けはしない。
据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。お客様自身で据付け工事をされ不備があると感電、火災等の原因になります。

据付け状態を確認する。
本機が落下しないよう、堅固な場所に固定されていることをご確認ください。

定格の電源になっているか確認する。
火災や本機の故障の原因になります。

異常時は運転を停止する。
異常のまま運転を続けると故障や感電・火災等の原因になります。異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お客様自身で移設はしない。
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。
お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください。

お客様自身で本機を廃棄しない。
本機を廃棄する場合は、販売店にご相談ください。

改造・修理は絶対にしない。
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。

本機にエラー表示が出て運転しなかったり、不具合が発生した場合は運転を停止する。
そのままにしておくと火災や故障の原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

本機の周りに危険物を置かない。
可燃性ガスの漏れる恐れがある場所への設置は行なわないでください。万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になります。

本機を水洗いしない。
感電、故障の原因になります。

濡れた手でボタンを操作しない。
感電、故障の原因になります。

特殊用途に使用しない。
この製品は、三菱電機 ビル 空調管理システム用です。他の空調機管理あるいは別の用途には使用しないでください。
誤動作の原因になります。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹きつけない。
可燃性スプレー等を本機の近くに置いたり、本機に直接吹きかけないでください。
発火、爆発の原因になります。

特殊環境には使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと、性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

スイッチを先のとがったもので押さない。
感電、故障の原因になります。

使用温度範囲を守る。
使用温度範囲を守ってください。使用温度範囲から外れたところで使用しますと重大な故障の原因になります。
使用温度範囲は取扱説明書の仕様表をご確認ください。
また、取扱説明書に記載がない場合は0℃～40℃となります。

伝送線を引っ張ったり、捩ったりしない。
火災、故障の原因になります。

本機を分解しない。
内部の基板などに触れますと危険なうえ、火災、故障の原因になります。

本機をベンジンやシンナー、化学雑巾などでふかない。
変色、故障の原因になることがあります。汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤を布につけ、よく絞った状態でふき取り、乾いた布でふきあげてください。

2．各部の名称とはたらき

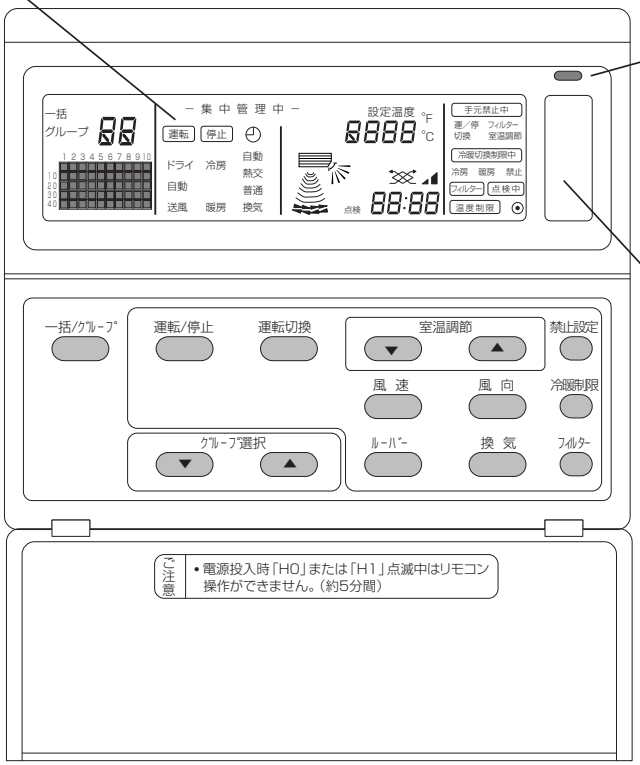
2-1　外観

●本機には、全空調機に対して一括操作設定する〔一括設定／モニタ画面〕と、各グループごとの空調機に対して操作設定する〔グループ別設定／モニタ画面〕の2つのモードがあります。　画面により操作設定できる項目に違いがあります。　詳細は、3.操作方法（P6）をご覧ください。

運転／停止表示

〔一括設定／モニタ画面〕
運転表示:1グループ以上運転中
（連動ユニットのみ運転中は表示しません）
停止表示:全グループ停止中
（連動ユニットが運転中でも表示します）

〔グループ別設定／モニタ画面〕
運転表示:選択グループが運転中
（連動ユニットのみ運転中は表示しません）
停止表示:選択グループが停止中
（連動ユニットが運転中でも表示します）



一括運転／停止ランプ

点灯:1グループ以上運転中
（連動ユニットが運転中でも点灯します）
消灯:全グループ停止中
点滅:登録空調機異常

一括運転／停止ボタン

全グループ停止中に押すと
全グループ運転
1グループ以上運転中に押すと
全グループ停止
登録空調機異常中に押すと
全グループ停止

2-2　表示部

集中管理中表示
他システムコントローラから操作禁止を設定されているときに表示します。

運転モード表示
現在の運転モードを表示します。

設定温度表示
選択された設定温度を表示します。

手元リモコン操作禁止表示
本機にて、手元リモコンの操作を禁止した場合に表示します。

運転モード切換制限表示
特定の運転モードの切換え操作が制限されている場合に表示します。

フィルター表示
フィルターの清掃時期がくると点滅表示します。
グループ別運転状態表示の点滅表示で、フィルター清掃時期となっているグループを表わします。

一括／グループ表示
一括表示:〔一括設定／モニタ画面〕
グループ表示:〔グループ別設定／モニタ画面〕
であることを表わします。

グループ番号表示
グループ別設定／モニタ画面時に選択されているグループ番号を表示します。

グループ別運転状態表示■
点灯：運転中
消灯：停止中
点滅：登録空調機異常

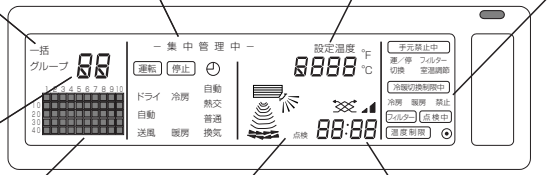


表　示
通電時、表示されます。

風向　表示
吹出しの風向を＼印で表示します。

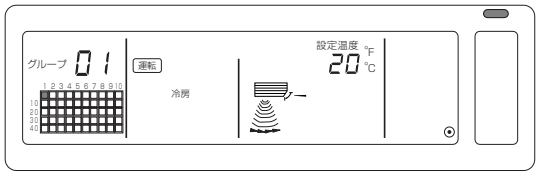
風速　表示
選択された風速を表示します。

ルーバー　表示
スイングルーバーの作動を表示します。停止の場合は表示しません。

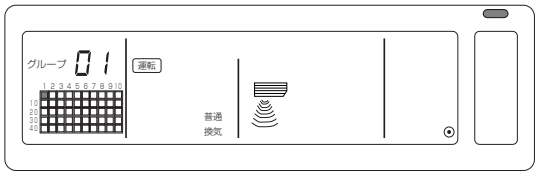
換気　表示
換気運転時表示します。

異常コード表示
何らかの異常が発生した場合、点検表示とともに、異常コード（4桁）を点滅表示します。

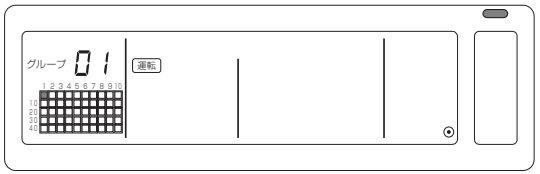
各ユニットのグループモニタ画面における実際の表示例



室内ユニットグループ

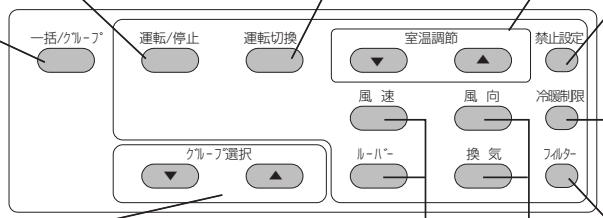


ロスナイグループ



汎用インタフェースグループ

2-3　操作部



運転／停止ボタン

［一括設定／モニタ画面］時、全グループを一括して運転･停止の切換えができます。
［グループ別設定／モニタ画面］時、選択グループの運転･停止を切換えます。

運転切換ボタン

冷房･ドライ･送風･自動･暖房を切換えるときに用います。
また、ロスナイに対しては、自動換気･普通換気･熱交換気を切換えます。

室温調節ボタン

室温の設定をするときに用います。
1℃単位で設定できます。

禁止設定ボタン

手元リモコンの操作を禁止する時に使用します。禁止項目は、運転／停止、運転モード、設定温度、フィルターリセット操作の4項目です。
（本機が操作禁止送信有効設定時のみ操作できます）

一括／グループボタン

［一括設定／モニタ画面］、［グループ別設定／モニタ画面］を切換えるときに用います。

冷暖制限ボタン

本機及び手元リモコンの運転モードの切換えをシーズン毎に制限することができます。

グループ選択ボタン

各種設定を行なう場合、設定したいグループ画面を呼び出すときに用います。（［グループ別設定／モニタ画面］時のみ操作できます）

フィルターボタン

フィルターサインをリセットするときに用います。

風速ボタン

風速を切換えるときに用います。

ルーバーボタン

左右風向の作動、停止を切換えるときに用います。

風向ボタン

上下に風向を調節するときに用います。

換気ボタン

連動している連動機の運転／停止、風速を切換えるときに用います。

3. 操作方法

3-1　一括設定／モニタ画面・グループ別設定／モニタ画面

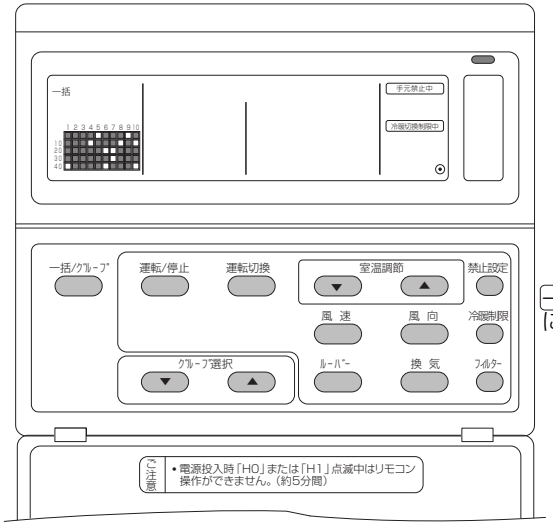
●一括設定／モニタ画面

- ●本機で管理するすべてのグループを一括して操作できます。
- ●下記の操作内容は、各操作ボタンが2秒以上押された時に設定内容の初期値を表示します。
  運転モード、風速、設定温度、風向、連動機の風速、ルーバー
- ●10分間操作がない場合は操作内容が消灯します。

●グループ別設定／モニタ画面

- ●選択したグループに対して操作ができます。
- ●［一括運転／停止］ボタンを押した場合、全グループ一括で運転／停止します。
- ●10分間操作がない場合［一括設定／モニタ画面］へ切換わります。

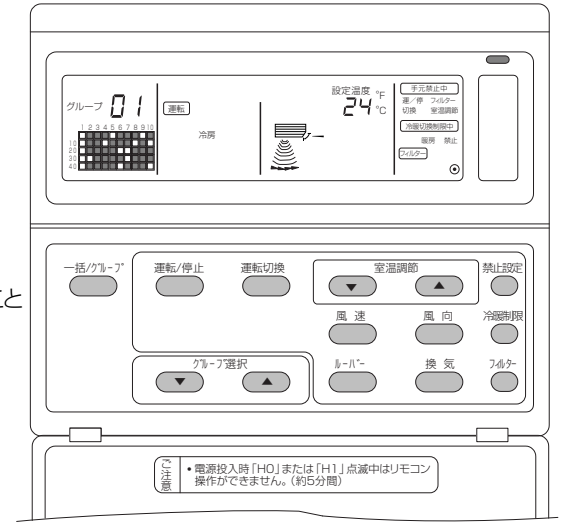
［一括設定/モニタ画面］



一括/ｸﾞﾙｰﾌﾟ

［一括/グループ］ボタンを押すことにより切換わります。

［グループ別設定/モニタ画面］



お知らせ
①空調機の機種により、一部操作できない機能があります。
②詳細な内容については、7ページ以降の“3-2 各種設定方法”をご覧ください。

3-2　各種設定方法

（1）運転／停止

［一括設定／モニタ画面］

① 運転／停止 ボタンを押すことにより、全グループの空調機、ロスナイ、あるいは汎用インタフェースを運転／停止します。

② 一括運転／停止 ボタンを押した時も、運転／停止ボタンを押した時と同様に動作します。

［グループ別設定／モニタ画面］

① 運転／停止 ボタンを押すことにより、選択グループの空調機、ロスナイ、あるいは汎用インタフェースを運転／停止します。

② 一括運転／停止 ボタンを押した時は、全グループの空調機、ロスナイ、あるいは汎用インタフェースが運転／停止します。

お知らせ 他のシステムコントローラより運転／停止を禁止されている場合、運転／停止、 一括運転／停止 ボタンは操作できません。
操作を禁止されている時に操作しますと［ - 集中管理中 - ］が点滅します。

（2）運転モード

［一括設定／モニタ画面］

① 運転切換 ボタンを1回押すごとに“表示なし”→冷房→ドライ→送風→自動→暖房→自動換気→普通換気→熱交換気

の順に切換わります。

上記、運転モードのいずれかが、登録されているユニットにない場合、その運転モードは表示されません。

また、運転モードを一括設定しても、その運転モードがないグループには設定されません。

汎用インタフェースだけを管理している場合、運転切換はできません。

［グループ別設定／モニタ画面］

① 運転切換 ボタンを1回押すごとに、冷房→〈ドライ〉→送風→〈自動〉→〈暖房〉の順に切換わります。

〈 〉内の運転モードは、各グループの登録室内ユニットにその運転モードがない場合、表示されません。

また、ロスナイを管理しているグループでは、 運転切換 ボタンを1回押すごとに、自動換気→普通換気→熱交換気の順に切換わります。

汎用インタフェースを管理しているグループでは、 運転切換 ボタンは操作できません。操作しますと全運転モードが点滅します。

お知らせ ①他のシステムコントローラより、運転切換の操作を禁止されている場合、 運転切換 ボタンは操作できません。操作を禁止されている時に操作しますと［ - 集中管理中 - ］が点滅します。

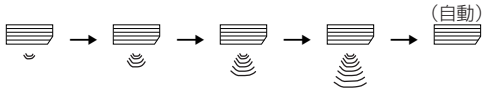
②本機及び、他のコントローラより運転モードの切換えを制限されていた場合、そのモードは選択できません。

（（9）運転モードの切換制限参照）

（3）風速調節

［一括設定／モニタ画面］

① 風速 ボタンを1回押すごとに右のように表示が切換わります。



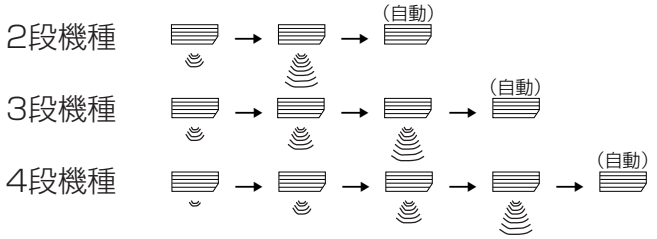
一括での風速切換は、機種に関係なく『4段』になります。

また、汎用インタフェースだけを管理している場合、風速切換はできません。

［グループ設定／モニタ画面］

① 風速 ボタンを1回押すごとに現在表示している風速状態から右のように表示が切換わります。

風速自動無しの機種の場合は、自動は表示されません。



お知らせ 風速切換は、管理する機種により異なります。

また、汎用インタフェースだけを管理しているグループ及び室内ユニットに風速調節がない機種では、風速切換はできません。

操作しますと“ ”の表示が点滅します。

（4）室温調節

［一括設定／モニタ画面］

①室温調節ボタン △ または ▽ を1回押すと、設定可能な下限温度（標準機種の場合19℃）が表示され、さらに1回押すごとに設定温度が1℃変化します。押し続けますと1℃ずつ連続して変化していきます。

一括での室温調節範囲は、管理下にある室内ユニットのうち最も設定可能範囲が狭い機種のものとなります。（優先順位：標準機種＞中温機種＞低温機種）

設定温度範囲	標準機種	中温機種	標準機種
冷房/ドライ	19℃~30℃	14℃~30℃	8℃~30℃
暖房	17℃~28℃	14[17]℃~28℃	8℃~28℃
自動	19℃~28℃	14[17]℃~28℃	8℃~28℃

［ ］：機種により異なります。

※送風運転では室温調節の設定はできません。

お知らせ
- 一括モードで「運転切換」ボタンが一度も押されていない場合の室温調節範囲は「自動」モードと同じになります。
- ロスナイ・汎用インタフェースのみを管理している場合、室温調節はできません。

［グループ別設定／モニタ画面］

②室温調節ボタン △ または ▽ を1回押すごとに設定温度が1℃変化します。

押し続けますと1℃ずつ連続して変化していきます。室温調節範囲は、管理する空調ユニット及び運転モードにより異なります。

お知らせ ロスナイ・汎用インタフェースを管理しているグループでは室温調節はできません。（操作しますと［設定温度］、［℃］が点滅します。）

お知らせ 他のシステムコントローラより室温調節の操作を禁止されている場合、室温調節ボタン △ または ▽ は操作できません。操作を禁止されているときに操作しますと［ - 集中管理中 - ］が点滅します。

（5）ルーバー［一括設定／モニタ画面、グループ設定／モニタ画面］

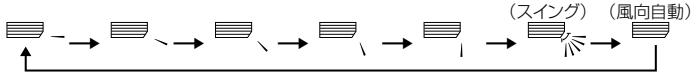
① ルーバー ボタンを1回押すごとに作動・停止を繰り返し、以下のように表示が切換わります。

お知らせ ①一括でのルーバー操作は、機種に関係なく「ルーバー操作可能」になります。
②グループ設定にて室内ユニットにルーバー機能がない場合に操作しますと“ ”の表示が点滅します。

（6）風向

［一括設定／モニタ画面］

① 風向 ボタンを1回押すごとに以下のように表示が切換わります。

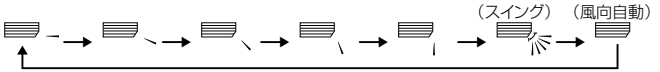


一括での風向切換は、機種に関係なくベーン有り操作、スイング操作可能になります。また、ロスナイ、汎用インタフェースだけを管理している場合、風向切換はできません。

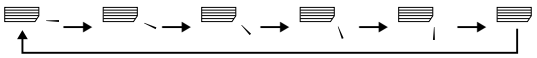
［グループ設定／モニタ画面］

① 風向 ボタンを1回押すごとに現在表示している風向状態から右のように表示が切換わります。

スイング有り機種



スイング無し機種

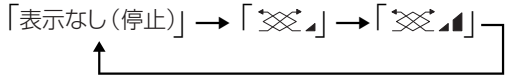


お知らせ 風向切換は、管理する機種により異なります。また、ロスナイ、汎用インタフェースだけを管理しているグループ及びベーン無し機種では、風向切換はできません。操作しますと“ ”の表示が点滅します。

（7）連動機の運転／停止

［一括設定／モニタ画面］

① 換気 ボタンを1回押すごとに以下のように表示が切換わります。

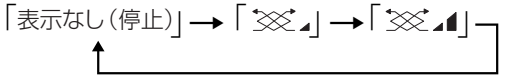


一括での連動機の運転／停止は、連動機の有無に関係なく操作可能になります。

また、単独室内機、単独ロスナイ、汎用インタフェースだけを管理している場合、連動機の運転／停止はできません。

［グループ設定／モニタ画面］

① 換気 ボタンを1回押すごとに現在表示している連動機の運転／停止状態から以下のように表示が切換わります。



お知らせ 連動機がないグループでは、連動機の運転／停止はできません。操作しますと“ ”の表示が点滅します。

（8）手元リモコンの操作禁止設定

［一括設定／モニタ画面］

①本機で管理している全ての手元リモコンの各種操作を禁止することができます。

［グループ別設定／モニタ画面］

①選択グループの手元リモコンの各種操作を禁止することができます。

お知らせ 本機の操作禁止範囲設定切換（SW3-5）をシステムコントローラ含む設定時には、他のシステムコントローラの操作を禁止することができます。

設定方法：［一括設定／モニタ画面］または［グループ別設定／モニタ画面］で設定します。

① 禁止設定 ボタンを2秒以上押すことにより、［ 手元禁止中 、運／停、切換、室温調節、フィルター］が表示され、すでに禁止していた項目は点灯し、許可していた項目は点滅します。［一括設定／モニタ画面］では全て点滅します。ロスナイを管理しているグループでは切換、室温調節の項目は表示されません。また、汎用インタフェースを管理しているグループでは切換、室温調節、フィルターの項目は表示されません。

②次に手元リモコンの操作を禁止または許可したい項目を設定します。

運転／停止の操作を禁止または許可したい時：運転／停止 ボタンを押します。操作しますと「運／停」表示が変化します。

運転モード切換操作を禁止または許可したい時：運転切換 ボタンを押します。操作しますと「切換」表示が変化します。

室温調節の操作を禁止または許可したい時：室温調節ボタン △ または ▽ を押します。操作しますと「室温調節」表示が変化します。

フィルターリセットの操作を禁止または許可したい時：フィルター ボタンを押します。操作しますと「フィルター」表示が変化します。

［各項目の表示変化］点滅（未設定状態）→ 点灯（禁止）→ 消灯（許可）

↑ ←┘

各項目のボタンを押すごとに、現在の表示状態から関連する表示が上記のように変化します。

［表示状態の意味付け］

表　示	点　　灯	消灯または点滅（＊1）
運／停	手元リモコン運転／停止操作禁止	手元リモコン運転／停止操作許可
切　換	手元リモコン運転モード切換操作禁止	手元リモコン運転モード切換操作許可
室温調節	手元リモコン室温調節操作禁止	手元リモコン室温調節操作許可
フィルター	手元リモコンフィルターリセット操作禁止	手元リモコンフィルターリセット操作許可

③ 禁止設定 ボタンを押すことにより、禁止／許可設定項目が確定され、点灯している項目について手元リモコンの操作が禁止されます。
消灯または点滅（何も操作していない）の項目は、許可となります。

（＊1）［一括設定／モニタ画面］では、上記③操作時に4項目全てが点滅状態（何も操作していない）の場合、全て許可とはならず、前回の設定状態となります。

お知らせ
①本機能は、本機の操作禁止設定切換（SW3-4）を使用可設定時にのみ設定できます。使用不可設定時には設定操作をすることはできません。
使用不可設定時に操作しますと［ - 集中管理中 - ］、［ 手元禁止中 、運／停、切換、室温調節、フィルター］が点滅します。
②ロスナイのグループでは、運転モード切換え及び室温調節の操作を禁止することはできません。
③また、汎用インタフェースのグループでは、運転モード切換、室温調節、フィルターの操作を禁止することはできません。

（9）運転モードの切換制限（シーズン切換え）

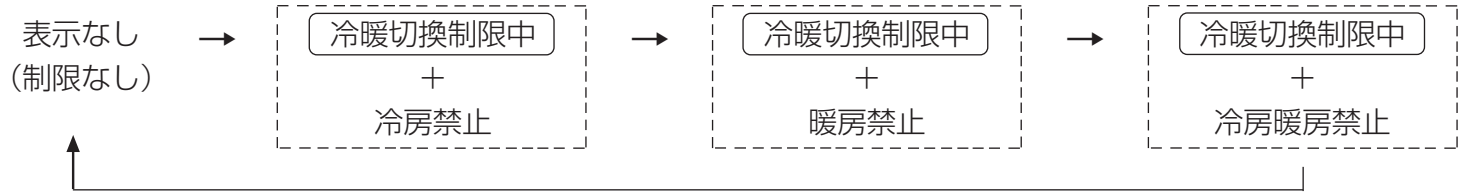
本機及び、全グループの手元リモコンに対して、特定の運転モードの切換を制限することができます。
例えば、シーズンに応じてモードの選択を制限します。

冷房モード制限（冬季）／暖房モード制限（夏季）／冷房＋暖房モード制限（中間期）

設定方法：［一括設定／モニタ画面］または［グループ別設定／モニタ画面］で設定します。

① 冷暖制限 ボタンを2秒以上押します。

② 次に 冷暖制限 ボタンを押すごとに下記の順で禁止したいモードが点灯します。



冷房禁止選択時　　：運転切換ボタン操作で冷房、ドライ、自動モードの選択が不可能になります。
暖房禁止選択時　　：運転切換ボタン操作で暖房、自動モードの選択が不可能になります。
冷房＋暖房禁止選択時　：運転切換ボタン操作で冷房、ドライ、暖房、自動モードの選択が不可能になります。（送風のみ可能）
消灯（制限なし）選択時：制限が解除されます。

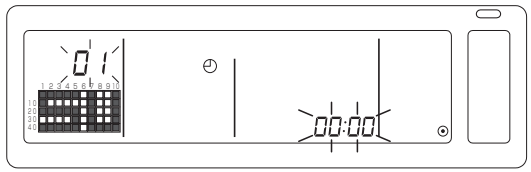
お知らせ
①本機能は、SW3-8が「ON」設定時にのみ使用できます。
②一部、本機能が実現できない室内機があります。この場合、手元リモコンに対する運転モードの切換え操作が制限できません。

（10）時刻設定モード

時刻設定機能があるシステムコントローラ、リモコンの現在時刻を一括で設定することができます。（一部設定できないリモコンがあります。また、本機には時計機能がありません。）

［設定方法と表示］　一括設定／モニタ画面より操作します。

グループ選択 ▽ と フィルター のボタンを同時に2秒以上押します。



①設定項目選択

グループ選択 ▽ ／ △ ボタンまたは、室温調節 ▽ ／ △ ボタンを押すことにより設定項目を選択します。

- 曜日設定：グループ選択 ▽ ／ △ ボタン
- 時刻設定：室温調節 ▽ ／ △ ボタン

②曜日設定

（①において、曜日設定を選択します。）

グループ選択 △ ボタンを押すごとにグループ番号表示部の曜日設定No.が下の順で変わります。

“01”→“02”→“03”→……“07”

また、グループ別運転状態表示部に各曜日設定NO. に対応して“SU、MO、TU、WE、TH、FR、SA”の表示がされます。

01：日曜日（SU）、02：月曜日（MO）、03：火曜日（TU） 04：水曜日（WE）、05：木曜日（TH）、06：金曜日（FR） 07：土曜日（SA）

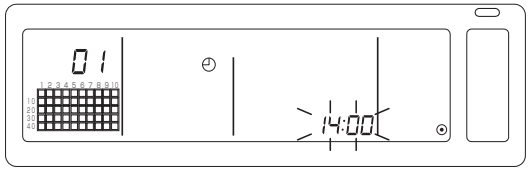
- ▽ ボタンは上記とは逆の動きをします。

③時刻設定

（①において、時刻設定を選択します。）

- 室温調節 △ ボタンを1回押すごとに異常コード表示部の設定時刻が1分進み、連続して押した場合、1分単位→10分単位→1時間単位の順に進み方が変化します。

- 室温調節 ▽ ボタンを1回押すごとに設定時刻が1分戻り、連続して押した場合、1分単位→10分単位→1時間単位の順に戻り方が変化します。



④設定内容確定

風速 ボタンを押すことにより設定内容が確定されます。
（曜日設定No.と時刻設定表示が点灯表示に変わります。）
再度、風速 ボタンを押すことにより、各リモコンの時刻を設定します。
（時計マーク“ ◴ ”が消灯します。）

- 風速 ボタンを押された時点で、秒は0秒にセットされます。

⑤時刻設定モード解除

グループ選択 ▽ と フィルター ボタンを同時に2秒以上押します。

- 設定画面は、一括設定／モニタ画面に戻ります。
- 設定確定前の設定内容は抹消されます。

お知らせ　本画面にて10分間操作がない場合は、自動的に一括設定／モニタ画面となります。（設定中の内容は抹消されます。）

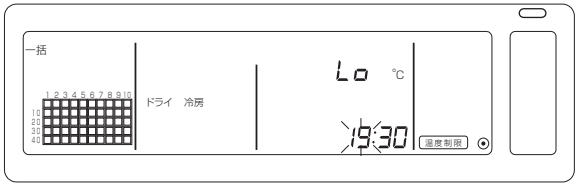
（11）設定温度範囲制限モード

設定温度範囲制限モード機能があるリモコンの「冷房／ドライ」、「暖房」、「自動」モード時の設定温度調節範囲（上限値、下限値）を一括で設定することができます。

［設定方法と表示］

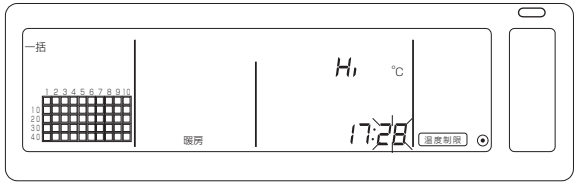
一括設定／モニタ画面より操作します。（全ユニットが停止している状態で操作を実施してください。）

室温調節 ▽ と △ のボタンを同時に2秒以上押します。「冷房／ドライ」モードの下限値が点滅表示されます。



◎冷房／ドライモード時の下限値設定

運転切換 ボタンを押すことにより
設定対象のモードが切換わります。
「冷房／ドライ」→「暖房」→「自動」



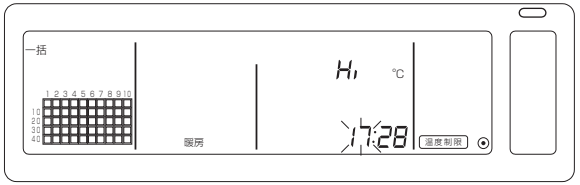
◎暖房モード時の上限値設定

お知らせ

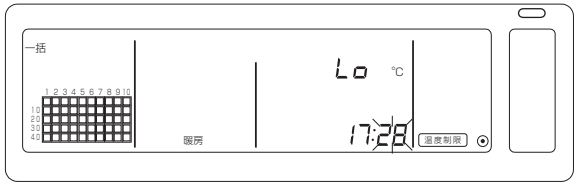
・時計表示部分に下限値（時）、上限値（分）を表示します。
・前回設定した設定値を表示します。設定操作をしていない場合は「－－」（制限無し）を表示します。 運転切換 ボタン操作にて再度同じモードを表示させたときは、上下限値ともに「－－：－－」（制限無し）を表示します。
・冷房／ドライ、自動モード切換時は最初に下限値が、暖房モード切換時は上限値が入力状態（点滅）となります。

①設定温度調節範囲の設定

室温調節 ▽ または △ ボタンを一回押すごとに点滅している設定値が1℃ずつ変化します。



禁止設定 ボタンを押すことにより
設定対象の上限、下限が切換わります。



お知らせ

・下限値≦上限値　以外の設定はできません。
・ フィルター ボタンを押すことにより上限値、下限値ともに「－－：－－」（制限無し）表示となります。
・「－－」（制限無し）表示状態にて ▽ もしくは △ ボタンを押すと、下限値の場合8℃、上限値の場合28℃（30℃）を表示します。
（　）内は冷房／ドライモード時。
・管理している室内機の機種によらず、設定可能範囲は下記のようになります。室内機の機種をお確かめの上設定してください。
冷房／ドライの設定温度制限範囲：8℃～30℃
暖房、自動　の設定温度制限範囲：8℃～28℃

②設定内容の確定

風速 ボタンを押すことにより設定内容が確定されます。（上限、下限値表示が点灯表示になります。）

お知らせ

・設定内容を確定した後、 ▽ もしくは △ ボタンを押すことにより設定表示（上限値または下限値が点滅）となります。

③設定温度範囲制限モードの解除

室温調節 ▽ と △ のボタンを同時に2秒以上押します。
一括設定／モニタ画面に戻ります。

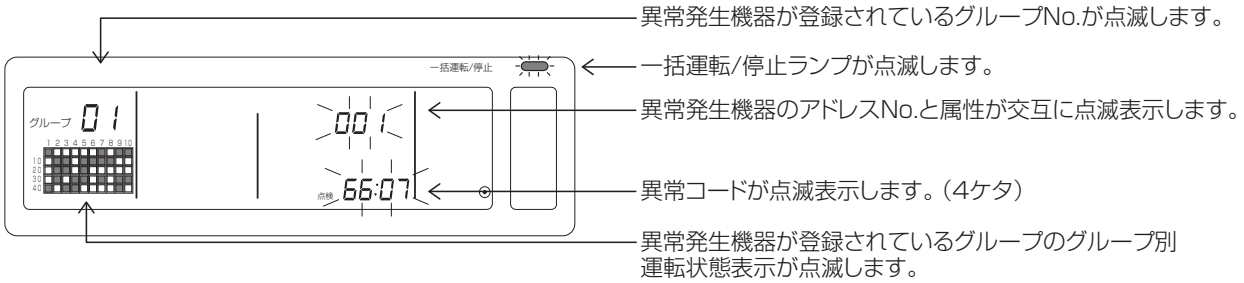
お知らせ

・設定温度範囲制限を設定後、室内機の運転モードが送風になる場合がありますので必要に応じ、設定前の運転モードに戻してください。
・本画面にて10分間操作が無い場合は、自動的に一括設定／モニタ画面となります。（設定中の内容は抹消されます。）

4．異常が発生した場合

4-1　「一括運転／停止ランプ」と「異常コード」が点滅している場合

- 空調機は、障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
- 異常発生中のユニットアドレス、および異常コードを確認したうえで、お買い上げ販売店またはサービスセンターへご連絡ください。



① [一括設定／モニタ画面] 表示中にて異常が発生した場合は、一番最初に障害が発生したグループの異常内容を表示します。
② [グループ別設定／モニタ画面] 表示中にて異常が発生した場合は、現在選択中のグループが異常の時のみ表示します。
③複数のグループで異常が発生している場合は、異常が発生しているグループのグループ別運転状態表示が点滅しますので“別のグループの異常内容を確認する方法”にて異常内容を確認してください。

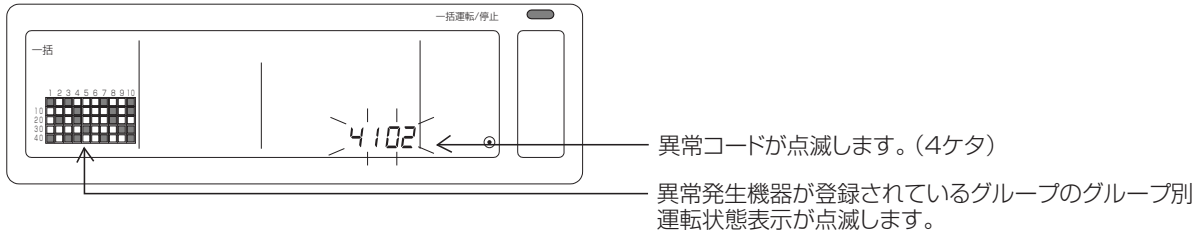
- 別のグループの異常内容確認する方法

グループ選択 ボタンで異常発生グループを選択し、異常内容を表示させ確認してください。

お知らせ
① [グループ別設定／モニタ画面] 表示中に表示しているグループ以外で異常が発生した場合は、一括運転／停止ランプと異常が発生しているグループのグループ別運転状態表示が点滅します。
②過去に発生した異常内容を確認することができます。確認方法については、“6．異常履歴モニタ”を参照ください。

4-2　「グループ別運転状態表示」と「異常コード」が点滅している場合

- 空調機は、運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。
- 異常コードを確認したうえで、お買い上げ販売店またはサービスセンターへご連絡ください。



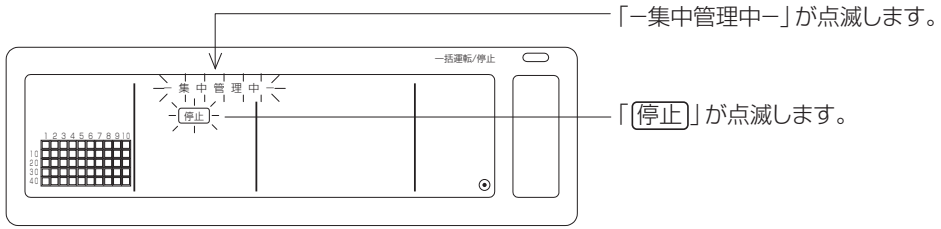
① [一括設定／モニタ画面] 表示中にて異常が発生した場合は、一番最初に障害が発生したグループの異常内容を表示します。
② [グループ別設定／モニタ画面] 表示中にて異常が発生した場合は、現在選択中のグループが異常の時のみ表示します。
③複数のグループで異常が発生している場合は、異常が発生しているグループのグループ別運転状態表示が点滅しますので“別のグループの異常内容を確認する方法”にて異常内容を確認してください。

お知らせ [グループ別設定／モニタ画面] 表示中に表示しているグループ以外で異常が発生した場合は、異常が発生しているグループのグループ別運転状態表示のみが点滅します。

5. 外部入力信号が入力された場合

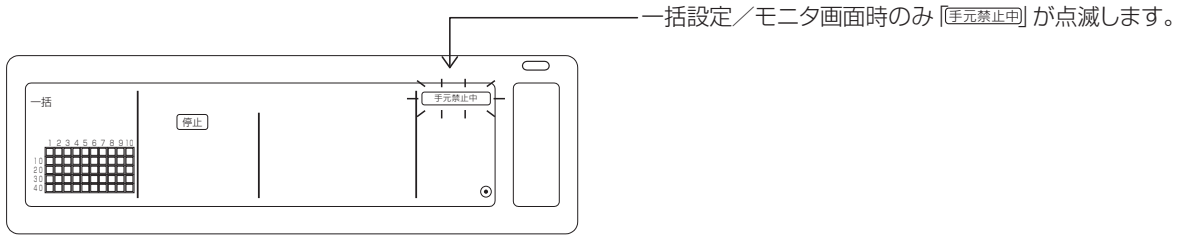
5-1　緊急停止モード

- 外部入力インタフェースに緊急停止入力が入力されると、管理している全空調機、ロスナイ、汎用インタフェースを停止します。
  また、緊急停止入力が解除されるまで、本機、下位システムコントローラおよび、手元リモコンの操作が禁止となります。
- 緊急停止が解除されますと、緊急停止入力前の状態に復帰します。（運転／停止状態は除く）
  （緊急停止入力に使用する外部アダプタは別売です）



5-2　禁止入力モード

- 外部入力インタフェースに禁止入力が入力されると、管理している手元リモコンの運転／停止、運転モード、設定温度、フィルターリセットの操作を禁止されます。
- 許可入力が入力されますと、手元リモコンの操作禁止は解除されます。



6．初期設定

- 複数のシステムコントローラを接続する場合、機能が多いシステムコントローラを「上位」に指定し、機能が少ないシステムコントローラを「下位」に指定します。(「上位／下位」の設定方法については、8．機能設定“8-1 上位システムコントローラと併用する場合”をご覧ください。)
- 本機が上位システムコントローラに管理されている場合は上位システムコントローラにて初期設定を行ないます。また、この場合本機は下位設定となり、初期設定をする必要はありません。

6-1　本機が上位システムの場合

初期設定には次の内容があります。

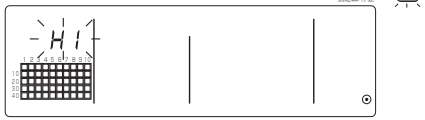
● グループ設定　　● 連動機設定　　● 一括抹消

これらの操作を行うために、まず本機の画面を初期設定モード画面にします。

①本機に給電が開始されますとつぎのようになります。

◎グループ番号表示部の『H0』と一括運転/停止ランプが点滅表示

②すでにグループ設定情報がある場合



◎システム立ち上げ通信中、グループ番号表示部の『H1』を点滅表示

◎システム立ち上げ通信完了にて、グループ別設定／モニタ画面となります。

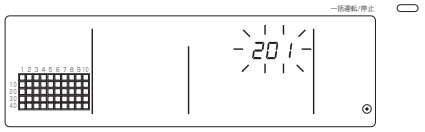
③グループ設定情報がない場合、あるいは、グループ設定情報を変更する場合

①の『H0』点滅表示中、または、②のグループ別設定／モニタ画面あるいは、一括設定／モニタ画面で フィルター と ルーバー のボタンを同時に2秒以上押します。

（ボタンを同時に押す際に ルーバー のボタンを先に押されますと初期設定モード画面になりません。）

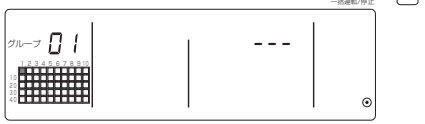
お願い　②の各画面から移行する場合、1台でも異常が発生している場合は、ボタン操作無効となります。

本機の自己アドレスが2秒間点滅表示されます。



◎自己アドレス表示画面

2秒後



◎初期設定モード画面（グループ設定画面）

上記、状態から6-1-1～6-1-2の操作を行ないます。

④初期設定モードを解除します。

- グループ設定、連動機設定が終わりましたら フィルター と ルーバー ボタンを同時に2秒以上押します。
- この操作によりグループ設定情報、連動機設定情報などを記憶し、システム立ち上げ通信を行ないます。これが終了しますとグループ別設定／モニタ画面となります。(②を参照ください)

お願い　システム立ち上げ通信中（「H1」点滅中）に電源を切らないでください。(電源を切るとグループ設定情報などが不揮発記憶されません)

6-1-1　グループ設定

- 各グループに室内ユニット、ロスナイ、汎用インタフェース、下位システムコントローラおよび手元リモコンを登録します。（室内ユニットと連動させたいロスナイは、連動機設定で登録してください）
- 本画面にてすでにグループ設定情報がある時に、10分間操作がない場合は、自動的に一括設定／モニタ画面となります。（設定中の内容は抹消されます。）

①グループを選択

▼ ユニットを登録させたいグループを選択します。

②ユニットを選択

▼ ①で選択したグループに登録するユニットなどを選択します。

③ユニットをグループに登録する場合

④グループからユニットを削除する場合

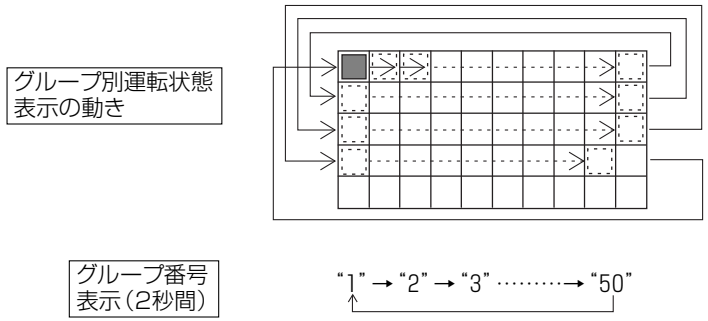
⑤登録ユニットの検索をする場合

▼

6-1④あるいは6-1-2へ

①グループを選択

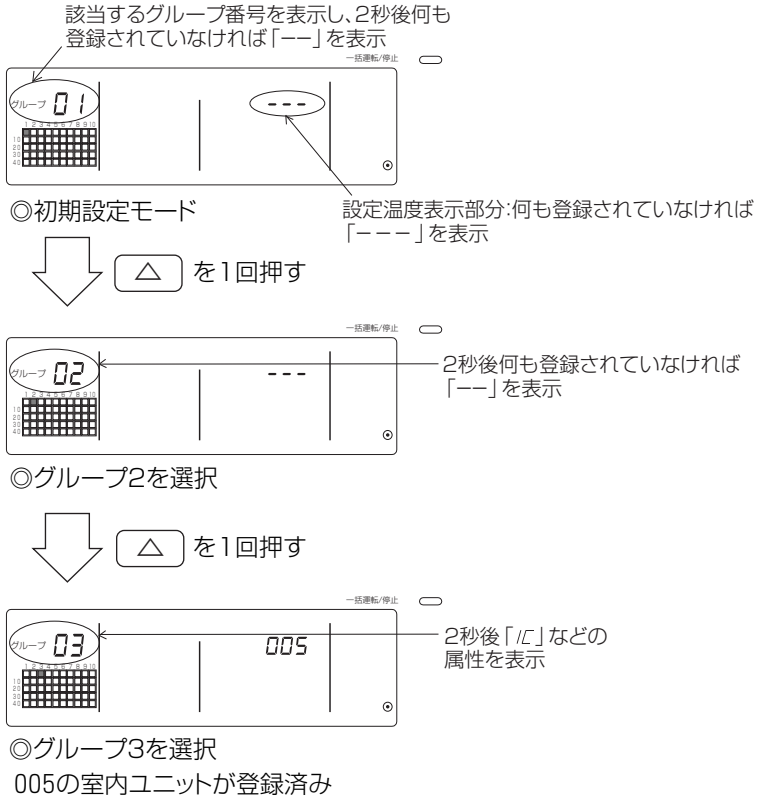
（1）グループ選択 [△] ボタンを押すごとにグループ別運転状態表示（■）が下記例）の順で移動し、グループ番号表示部も変化します。[▽] ボタンは逆の動きをします。



（2）グループ選択後、そのグループに登録ユニットがある場合は、最小アドレスNo.のユニットを表示します。また、2秒後にそのユニットの属性を表示します。

表示内容 ｛ 設定温度表示部・・・・・アドレスNo.
グループ番号表示部・・・アドレスNo.の属性

例）グループ1，2が未登録、グループ3にアドレス005の室内ユニットが登録されている場合



②ユニットを選択

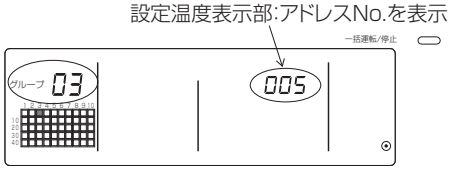
（1）①で選択したグループに登録するユニットを選択します。

- 室温調節 [△] ボタンを押すごとに設定温度表示部のアドレスNo.が下の順で変わります。（3秒以上押し続けますと、桁上がりの時、スキップ機能が働きます）

“000”→“001”→“002”→……→“250”

- [▽] ボタンは上記とは逆の動きをします。

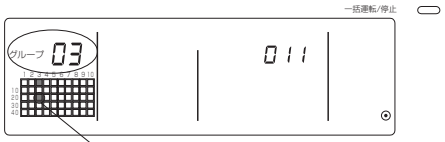
◇アドレスNo.設定範囲		
	室内ユニット、ロスナイ 汎用インタフェース	：001～050
	手元リモコン	：101～200
	下位システムコントローラ	：000，201～250



（2）登録済みのユニットを選択した場合

- 選択したユニットが本機で管理する50個のグループのうち、いずれかにすでに登録してある場合下記のような表示になります。

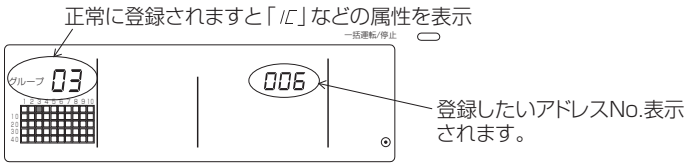
例）グループ3でユニット011を呼び出した時



③ユニットをグループに登録する場合

（1）②で選択したユニットをグループに登録します。

- ①、②で選択したグループNo.とユニットアドレスを表示させた状態で [風速] ボタンを押します。
- この操作により登録作業は完了します。
- 正常に登録されますと『IC』等の属性を表示します。正常に登録されない場合、属性のかわりに『88』が点滅表示されます。



◎登録完了画面

グループ3にアドレス006の室内ユニットを登録
登録時の各ユニットの属性表示は下記のとおりです。

室内機	：IC	ロスナイ	：LC
汎用インタフェース	：dC	手元リモコン	：RC
システムコントローラ	：SC		

（2）別のユニットを登録する場合

- 同一のグループに別のユニットを登録したいとき②、③を行ないます。
- 別のグループにユニットを登録したいとき①、②、③を行ないます。

お知らせ

①下記組み合わせでの同一グループへの登録はできません。

- 室内機とロスナイ　● 室内機と汎用インタフェース
- ロスナイと汎用インタフェース

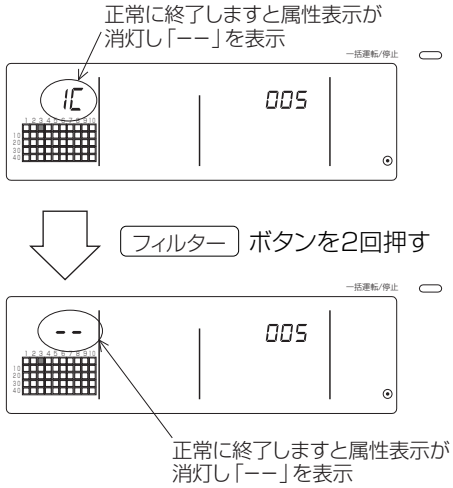
登録しようとした場合、正常登録できず「88」の点滅を行います。

②室内ユニット、ロスナイ、汎用インタフェース、手元リモコンをすでに別グループに登録した場合、他のグループへ登録することはできませんが、下位システムコントローラは、別グループへも登録することができます。

④グループからユニットを削除する場合

（1）①、②の操作をして削除したいユニットのアドレスNo.を呼びだします。

- この状態で フィルター ボタンを2回押すことによりグループに登録してあるユニットは削除されます。

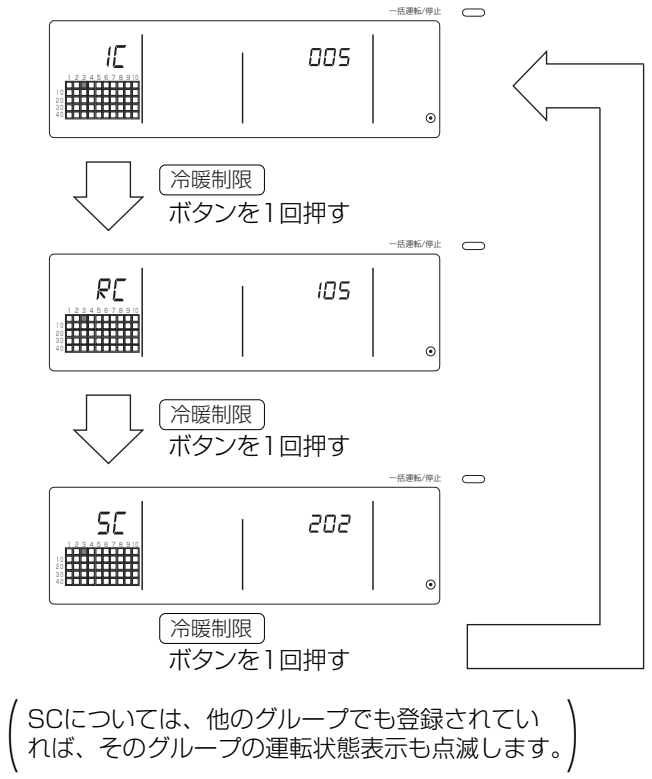


⑤登録ユニットの検索をする場合

グループに登録してあるすべてのユニットのアドレスNo.を確認できます。

（1）①の操作を行ない検索したいグループを選択します。

（2）冷暖制限 ボタンを押すたびに登録されているユニットのアドレスNo.の小さい順に表示します。



（SCについては、他のグループでも登録されていれば、そのグループの運転状態表示も点滅します。）

（3）ユニットが1台も登録されていない場合『－－－』が表示されます。

6-1-2　連動機設定

- 各グループで連動機が連動運転できるように設定します。
- グループ設定を行なった後、連動機の設定を行ないます。
  連動機を設定したいグループにユニットが登録されていないと連動機の設定はできません。
- 汎用インタフェースと連動機の設定はできません。

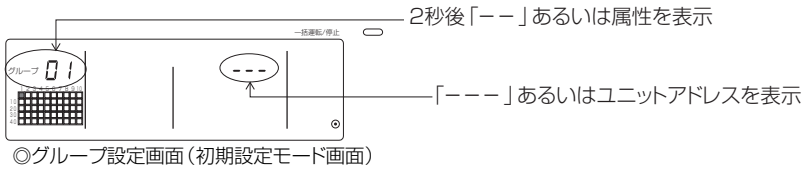
①連動機設定画面の呼びだし
↓
②グループNo.の選択
　連動機の登録を行ないたいグループを選択します。
↓　検索／抹消の場合も同様です。
③登録ユニットの呼び出し
↓
④連動機アドレスNo.の選択
↓
⑤連動機の登録をする場合
⑥連動設定解除をする場合
⑦連動機の検索をする場合
↓
6-1④あるいは6-1-1へ

お願い

- 連動機の登録を行なうとき、あるグループの室内ユニットと連動機を連動登録する場合、そのグループ内の最小アドレスNo.の室内ユニットも必ず連動登録を行なってください。連動登録しませんと、手元リモコンで連動機を操作（換気切換）することができません。
- 連動機と連動させたい室内ユニットが複数ある場合は、その室内ユニットすべてに対し、連動登録を行なってください。

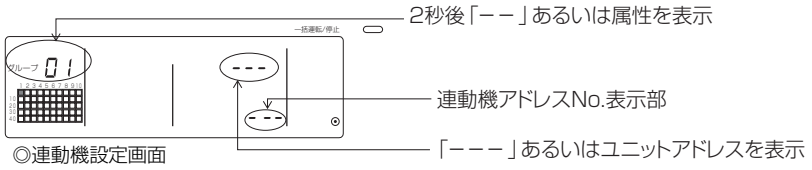
①連動機設定画面の呼びだし

（1）グループ設定画面から連動機設定画面に変更します。
　一括／グループ ボタンを押します。



◎グループ設定画面（初期設定モード画面）

一括/グループボタンを1回押すごとにグループ設定画面と連動機設定画面が切換わります。



◎連動機設定画面

②グループNo.の選択

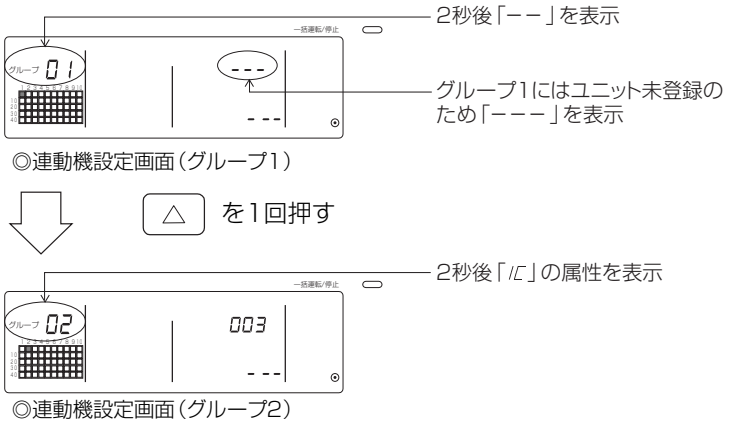
（1）グループNo.を呼び出します。
- 連動機を登録したいグループNo.を呼び出します。
  6-1-1①グループ選択と同様の操作を行ないます。
- グループ選択 ▽ 、△ ボタンにてグループを選択します。

（2）グループを選択しますとグループ番号表示部には該当するグループ番号を表示します。

（3）グループ選択後、登録ユニットがある場合は、登録ユニットのうち最小アドレスNo.のユニットを表示します。

表示内容
- 設定温度表示部・・・・・アドレスNo.
- グループ番号表示部・・・アドレスNo.の属性

例）グループ1が未登録、グループ2にアドレス003の室内ユニットが登録されている場合を次ページに表します。



③登録ユニットの呼び出し

連動機と登録したい室内ユニットのアドレスNo.を 一括運転／停止 ボタンにより呼び出します。

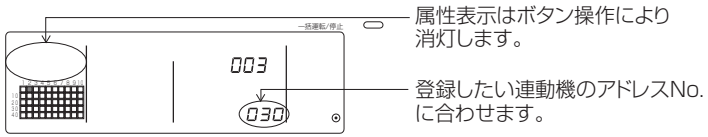
④連動機アドレスNo.の選択

（1）③で選択した室内ユニットに登録する連動機のアドレスNo.を設定します。

- ③の室内ユニットを選択した状態で室温調節 △ ボタンを押します。
- ボタンを押すごとに表示される連動機アドレスNo.が下記の順に換わります。（3秒以上続けますと、桁上がりの時、スキップ機能が働きます）

“001”→“002”→……→“050”

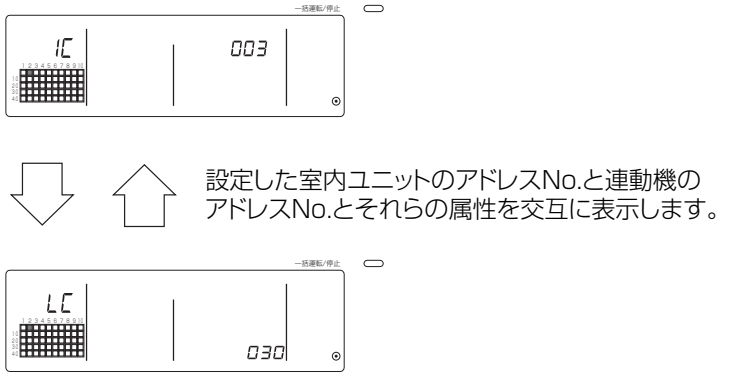
- ▽ ボタンは上記とは逆の動きをします。



⑤連動機の登録をする場合

（1）④の状態で 風速 ボタンを押すことにより連動機は表示室内ユニットと連動登録されます。

- 正常に登録されますと表示は下記のようになります。



正常に登録されない場合属性表示のかわりに『88』が点滅表示されます。

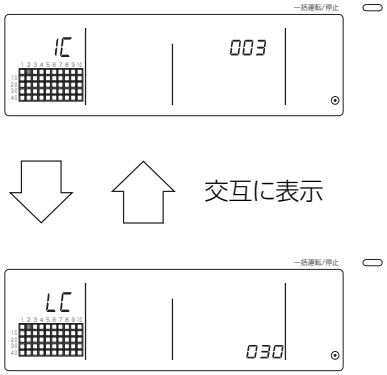
（2）次の連動機設定を行なう場合

- 同じ連動機に同一グループの別の室内ユニットを連動登録したいとき③、⑤を行ないます。
- 同じ連動機に別グループの室内ユニットを連動登録したいとき②、③、⑤を行ないます。
- 別の連動機を別の室内ユニットに連動登録したいとき②、③、④、⑤を行ないます。

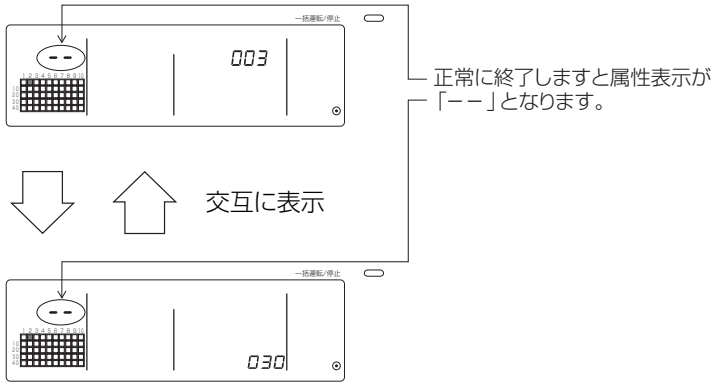
⑥連動設定解除をする場合

室内ユニットと連動機の連動設定を解除します。

（1）連動機設定後の画面、または連動機を検索した画面を出します。



（2）この状態で、フィルター ボタンを2回押すことにより連動設定を解除します。



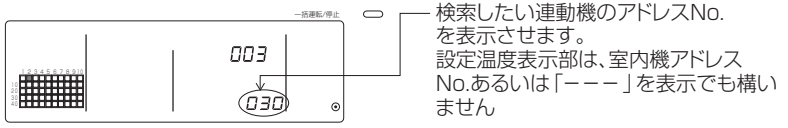
⑦連動機の検索をする場合

連動機がどの室内ユニットと連動登録されているか検索します。

（1）連動機より検索をする場合

④の操作にて連動設定の確認を行ないたい連動機アドレスNo.を表示させます。

- 室温調節 ▽ 、 △ ボタンにて連動機を選択

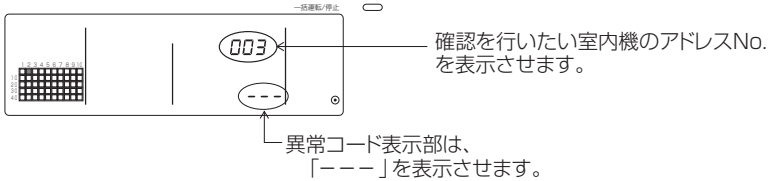


上記状態で 冷暖制限 ボタンを押します。

（2）室内機より検索をする場合

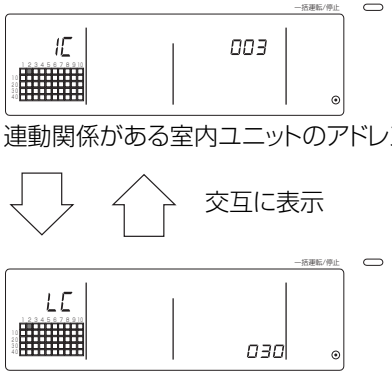
②、③の操作にて連動設定の確認を行ないたい室内機アドレスNo.を表示させます。

- グループ選択 ▽ 、 △ ボタンまたは、一括運転／停止 ボタンにて室内機を選択



上記状態で 冷暖制限 ボタンを押します。

（3）連動機設定されている場合



● またこの状態でさらに 冷暖制限 ボタンを押しますと連動機に連動設定されている他のユニットを1台ずつ確認できます。

例）連動機030に下記ユニットが連動設定されている場合。
室内ユニット …… 001（グループ1）
002（グループ2）

検索内容は次のように表示されます。

冷暖制限 ボタンを1回押す

室内ユニットアドレス001とその属性

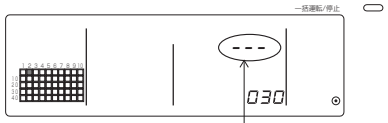
冷暖制限 ボタンを1回押す ←→ 連動機のアドレス030とその属性

室内ユニットアドレス002とその属性

冷暖制限 ボタンを1回押す ←→ 連動機のアドレス030とその属性

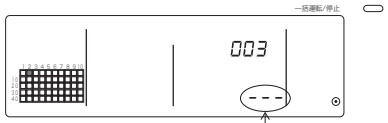
（4）連動機設定されていない場合

［連動機より検索した時］



ユニットアドレスNo.表示部（設定温度表示部）に「－－－」を表示

［室内機より検索した時］

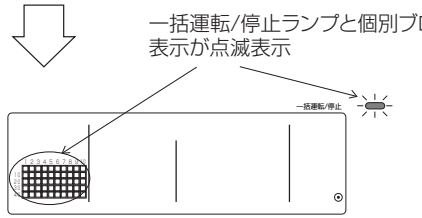


連動機アドレスNo.表示部（異常コード表示部）に「－－－」を表示

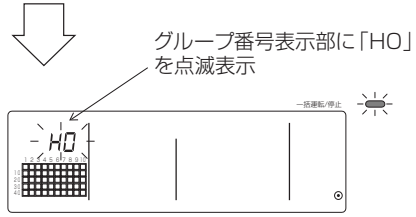
6-1-3 一括抹消

● すべてのグループ設定情報、連動機設定情報を抹消します。
本機が上位設定時のみ有効です。
（1）グループ設定画面、または連動機設定画面を表示させます。
（2）この状態で 風向 ボタンを3秒以上押し続けますと設定した情報がすべて抹消されます。

風向 ボタンを3秒以上押し続ける



◎一括抹消通信処理中



◎初期状態

7. 異常履歴モニタ

●過去に発生した異常を50件までメモリに記憶します。
（異常が50件以上発生した場合、古い異常から消えていきます。
“4-2.「グループ別運転状態表示」と「異常コード」が点滅している場合”の異常はメモリに記憶されません。）

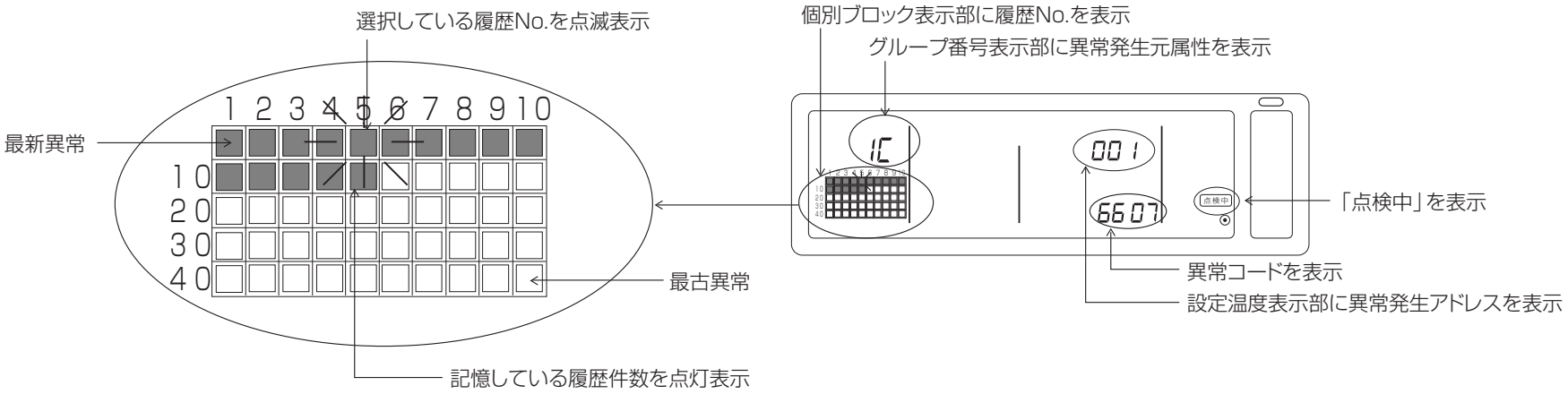
[表示とモニタ方法]

一括設定／モニタ画面より操作または、異常表示中の画面より操作します。

①［禁止設定］と［ルーバー］のボタンを同時に2秒以上押すことにより異常履歴を表示します。
（ボタンを同時に押す際に［ルーバー］のボタンを先に押されますと異常履歴を表示しません。）

②グループ選択［△］ボタンを1回押すごとに1つ古い異常履歴を表示します。

③グループ選択［▽］ボタンを1回押すごとに1つ新しい異常履歴を表示します。



[異常履歴抹消]

①抹消したい異常履歴を表示させ［フィルター］ボタンを2回押すことにより選択された異常履歴が抹消されます。

②［風向］のボタンを3秒以上押すことにより全ての異常履歴が抹消されます。

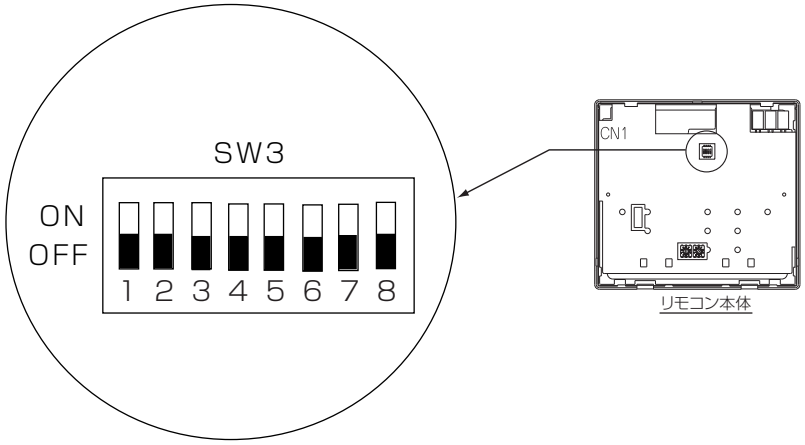
[異常履歴モニタ解除]

①［禁止設定］と［ルーバー］のボタンを同時に2秒以上押します。

②モニタ画面は、一括設定／モニタ画面または、異常表示中の画面に戻ります。

お知らせ 本画面にて10分間操作がない場合は、自動的に一括設定／モニタ画面となります。

8. 機能設定



8-1 上位システムコントローラと併用する場合

複数のシステムコントローラを接続する場合、機能が多いシステムコントローラを「上位」に指定し、機能が少ないシステムコントローラを「下位」に指定します。従って、併用するシステムコントローラの機能「上位／下位」は以下の通りです。
G50(MJ-103MTR-B)＞PAC-SF44SR＞PAC-YT34ST＞MJ-111AN-C＞PAC-YT40ANR＞PAC-SC30GR＞PAC-YV03LMAP
の順になります。

設定内容	SW設定
上位側	SW3-1：OFF
下位側	SW3-1：ON

8-2 手元リモコン操作禁止機能を本機から行なう場合

複数のシステムコントローラを接続し、本機から「手元リモコン操作禁止」機能を行なう場合は、本機の「操作禁止設定切換」を、「ON（使用可）」に設定してください。
（使用不可設定時は、9-1外部記号入力機能を使用することはできません。）

設定内容	SW設定
使用不可	SW3-4：OFF
使用可	SW3-4：ON

8-3 本機以外のシステムコントローラを操作禁止にする場合

本機より手元リモコン操作禁止設定時に本機以外のシステムコントローラを操作禁止にする場合は、本機の「操作禁止範囲切換」を、「ON（システムコントローラ含む）」に設定してください。

設定内容	SW設定
手元リモコンのみ	SW3-5：OFF
システムコントローラ含む	SW3-5：ON

8-4 設定温度表示を「華氏表示」に変更する場合

設定内容	SW設定
摂氏表示：℃	SW3-6：OFF
華氏表示：°F	SW3-6：ON

お願い

スイッチ3の1、4～6のON／OFFを切換えた場合は、必ず一旦電源を落としてください。
スイッチを切換えただけでは機能は切換わりません。
電源を一旦落とし、立ち上げを行なうことで切換わります。

9. 外部入出力使用方法

9-1　外部信号入力機能

●外部信号の入力には別売の外部入出力アダプタ（形名：PAC-YT41HA）をお買い求めください。

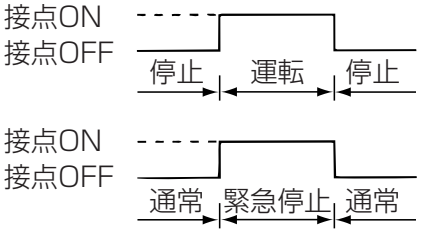
（1）外部入力

外部からの無電圧接点信号により、管理している全てのユニットを対象に、緊急停止／通常・運転／停止・手元リモコン操作の禁止／許可を制御できます。（SW3の設定により選択します。SW3は本体の基板面に実装しています。）

No.	外部入力信号の機能	SW3			入力状態
		2	3	4	
1	**外部入力使用しない。**	OFF	OFF		−
2	**緊急停止／通常を切換える。** 緊急停止中、全ユニットを停止させ、本機、他のシステムコントローラ及び、手元リモコンの全操作が禁止となります。	OFF	ON		レベル入力
3	**運転／停止を設定する。** 入力状態より、全ユニットを運転／停止します。	ON	OFF	ON	レベル入力
4	**運転／停止・禁止／許可を設定する。** 入力状態より、全ユニットを運転／停止したり、全手元リモコン運転／停止操作を禁止します。 禁止入力の場合、手元リモコンの運転／停止、運転モード、設定温度、フィルターリセットの操作が禁止されます。本機は操作可能。	ON	ON	ON	パルス入力 (0.5S以上)

（2）レベル信号とパルス信号

（A）レベル信号の場合



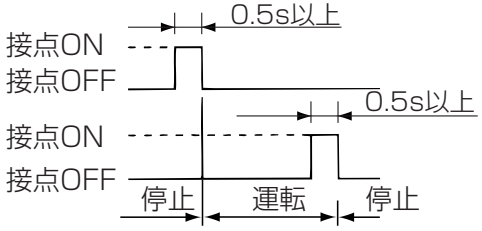
（B）パルス信号の場合

（例）運転／停止の場合

信号1（運転）

信号2（停止）

※禁止／許可入力も同様です。



お知らせ　①SW3-4 操作禁止設定切換を「OFF（使用不可）」に設定している場合、緊急停止のみ使用できます。

②レベル入力の緊急停止、運転／停止を設定した時は、SW3-5 操作禁止範囲切換を「OFF（手元リモコンのみ）」に設定している場合でも他のシステムコントローラは操作禁止となります。

（3）外部入力仕様

CN2	リード線（5線）	緊急停止／通常のレベル信号	運転／停止のレベル信号	運転／停止、禁止／許可のパルス信号
1番	緑	緊急停止／通常入力	運転／停止入力	運転入力
2番	黄	未使用	未使用	停止入力
3番	橙	未使用	未使用	手元リモコン操作禁止入力
4番	赤	未使用	未使用	手元リモコン操作許可入力
5番	茶	コモン（共通）0V		

（A）レベル信号の場合

外部入力／接点動作	動作状態	
	緊急停止／通常	運転／停止
OFF→ON	通常→緊急停止	停止→運転
ON→OFF	緊急停止→通常	運転→停止

（B）パルス信号の場合

①運転信号入力にて運転、停止信号入力にて停止します。（禁止、許可も同様です。）

②手元リモコン操作禁止とした場合、手元リモコンによる運転／停止、運転モード、設定温度、フィルターリセットの各操作を禁止します。

③パルス幅（接点ON時間）は0.5s以上としてください。

お知らせ

①レベル信号の場合

- 緊急停止の接点ON中は、本機および手元リモコンの全操作が禁止となります。

②パルス信号の場合

- 運転中に運転信号を入れても運転のままです。（停止、禁止、許可の場合も同様。）

9-2　外部信号出力機能

●外部信号の出力には別売の外部入出力アダプタ（形名：PAC-YT41HA）をお買い求めください。

（1）外部出力

1台以上のユニットが運転しているとき「運転」、1台以上のユニットに異常が発生しているとき「異常発生中」の信号を出力します。

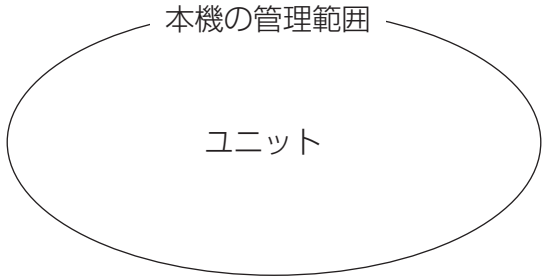
（2）外部出力仕様

CN3	リード線（4線、黒チューブ付き）	各端子の内容
1番	茶	異常／正常
2番	赤	
3番	橙	運転／停止
4番	黄	

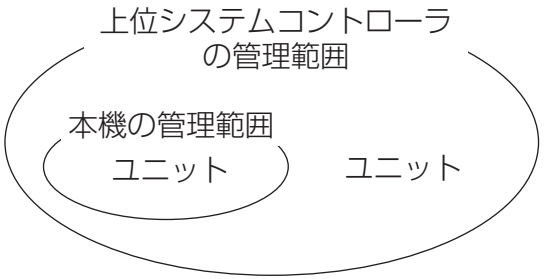
①「異常発生中」も「運転中」は出力します。

10. システム制約事項について

上位システムコントローラと下位システムコントローラについて



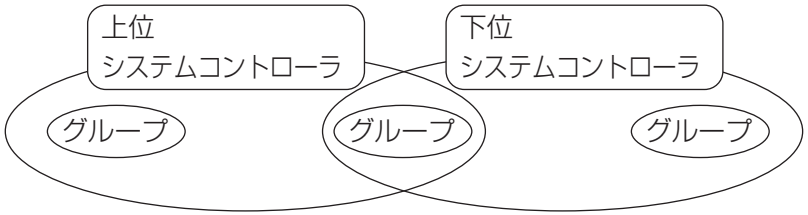
本機のみのシステムの場合。
本機の設定を上位システムコントローラとします。
この場合、本機でグループ設定を行ないます。



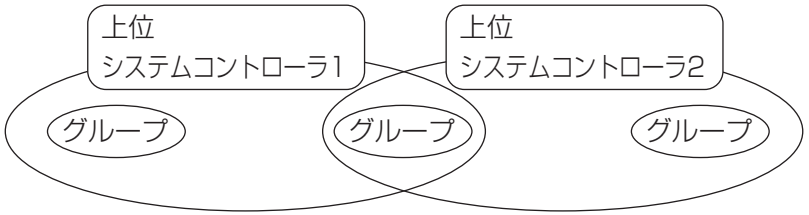
本機が他のシステムコントローラに管理されている場合。
本機の設定を下位システムコントローラとします。この
場合、本機でのグループ設定は行なえません。

お知らせ　次のようなグループ設定はできません。

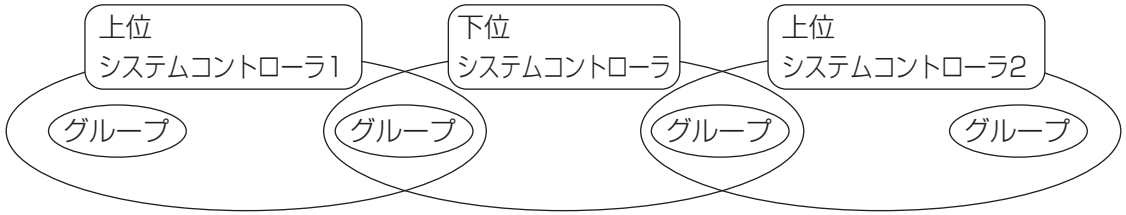
●上位システムコントローラの管理下でないユニットの、
下位システムコントローラでの管理。



●2台以上の上位システムコントローラでの、共通グループ
の管理。



●2台以上の上位システムコントローラの管理範囲をまたいだ、下位システムコントローラの設定。



11. 仕　様

11-1　製品の機能

●本機は最大50台までの空調機、ロスナイ及び汎用インタフェースをコントロールします。また、次のような機能があります。

〈システムリモコン機能一覧〉

<table>
<tr><th colspan="3">機　　能</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td rowspan="15">通常機能</td><td rowspan="10">操　作</td><td>運転／停止</td><td>一括／グループごとに、運転／停止操作ができます。</td></tr>
<tr><td>運転モード</td><td>一括／グループごとに、空調機には冷房／ドライ／送風／自動／暖房、ロスナイには普通換気／熱交換気／自動換気の切換え操作ができます。</td></tr>
<tr><td>風　速</td><td>一括／グループごとに、風速切換操作ができます。（機種により設定できる風速が異なります。）</td></tr>
<tr><td>設定温度</td><td>一括/グループごとに、温度設定操作ができます。（機種により設定できる温度範囲が異なります。）
<table><tr><th>設定温度範囲</th><th>標準機種</th><th>中温機種</th><th>低温機種</th></tr><tr><td>冷房/ドライ</td><td>19℃～30℃</td><td>14℃～30℃</td><td>8℃～30℃</td></tr><tr><td>暖房/燃焼暖房</td><td>17℃～28℃</td><td>14[17]℃～28℃</td><td>8℃～28℃</td></tr><tr><td>自動</td><td>19℃～28℃</td><td>14[17]℃～28℃</td><td>8℃～28℃</td></tr></table>［　］：機種により異なります。
（スイッチ設定により、設定温度表示を「華氏表示」に変更することができます。）</td></tr>
<tr><td>ルーバー</td><td>一括／グループごとに、ルーバーの運転／停止操作ができます。</td></tr>
<tr><td>風向／スイング</td><td>一括／グループごとに、上下風向及びスイングの切換ができます。</td></tr>
<tr><td>連動機の運転／停止</td><td>連動機（ロスナイ）のある場合、一括／グループごとに、運転（強／弱）／停止の切換ができます。</td></tr>
<tr><td>手元リモコンの操作禁止</td><td>一括／グループごとに、手元リモコンの運転／停止操作・運転モード操作・設定温度操作・フィルターリセット操作を禁止設定することができます。
（ただし、本機が操作禁止送信有効設定時のみ）</td></tr>
<tr><td>運転モードの切換制限
（シーズン切換え）（＊1）</td><td>一括／グループごとに、本機及び、手元リモコンの運転モードの切換えを制限することができます。
冷房モード制限（冬期）／暖房モード制限（夏期）／冷暖房モード制限（中間期）</td></tr>
<tr><td>フィルターリセット</td><td>一括／グループごとに、フィルター掃除後のフィルターサインリセット操作ができます。</td></tr>
<tr><td>外部入力</td><td>外部から一括で、緊急停止、運転／停止、禁止／許可の設定ができます。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">モニタ</td><td>一括運転</td><td>一括運転／停止ランプにて表示します。</td></tr>
<tr><td>グループ別運転状態</td><td>グループごとに、運転／停止・運転モード・風速・設定温度・風向・連動機の運転／停止を表示します。</td></tr>
<tr><td>フィルターサイン</td><td>グループごとに、フィルター清掃の時期が来たことをお知らせします。</td></tr>
<tr><td>手元操作禁止</td><td>本機が禁止している内容、または他機からの禁止内容を表示します。</td></tr>
<tr><td>異常</td><td>異常発生中のユニットアドレスと異常コードを液晶表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>外部出力</td><td>外部に一括の運転／停止、異常発生の信号を出力できます。</td></tr>
<tr><td></td><td>異常履歴モニタ</td><td>過去に発生した異常を最大50件まで記憶し確認できます。（発生が新しい順に50件）</td></tr>
</table>

（＊1）フリープラン室内機（Cタイプ以降の機種）のグループのみ制限が可能です。

※汎用機器に対しては運転／停止操作のみ、設定可能です。

〈システムリモコン機能一覧〉

機能			内容
初期設定機能	操作	グループ設定	ユニット（室内ユニット・ロスナイ・汎用インタフェース・リモコン・下位システムコントローラ）のグループ設定操作を行ないます。
		連動機設定	ロスナイの室内ユニットとの連動設定を行ないます。
	システム（＊3）	上位システムコントローラ／下位システムコントローラ（＊1）	システムコントローラの上位／下位設定
		禁止範囲	禁止を行なう場合、禁止先をリモコンだけとするか、他のコントローラを含むかを設定します。
		禁止送信／受信	手元リモコンに対して操作禁止を本機で行なうか
		「摂氏／華氏」表示	設定温度表示を摂氏表示で行なうか、華氏表示で行なうかを設定します。
		システムリモコン自己アドレス	システムリモコンのアドレス設定（据付説明書をご覧ください。）
	その他	時刻設定（＊4）	時刻設定機能があるシステムコントーラ、リモコンの現在時刻を一括で設定することができます。
		設定温度範囲制限モード	設定温度範囲制限モード機能があるリモコンの設定温度範囲を一括で設定することができます。
システム制約	登録台数	室内ユニット、ロスナイ、汎用インタフェース	最大50台（最大50グループ）
		1グループの室内ユニット、ロスナイ、汎用インタフェース台数	0～16台（室内ユニット、ロスナイ、汎用インタフェースを同一グループに登録することはできません）
		1グループの手元リモコン台数	0～2台
		1グループを管理できるシステムコントローラ台数（＊2）	0～4台（ただし、1グループの手元リモコン台数を含む） 手元リモコンが1台あるグループでは0～3台
		1台のロスナイと連動する室内ユニット台数	0～16台

（＊1）「10.システム制約事項について」をご覧ください。
（＊2）本機（システムリモコン）は、システムコントローラの1つです。
（＊3）「8.機能設定」をご覧ください。
（＊4）本機には時計機能はありません。

11-2. 本体仕様

項目	内容
電源	DC20～30V（室外ユニットまたは伝送線用給電ユニット（形名：PAC-SC50KU）より給電）
消費電力	1W
使用環境条件	温度0～40℃、湿度30～90%RH（結露なきこと）
質量	0.2kg
外形寸法（H×W×D）	120×130×18（mm）

部屋名記載シート

部屋名の変更の際に縮小コピーしてご使用ください。（縮小率70%）

三菱電機株式会社
冷熱システム製作所　〒640-8686　和歌山市手平6-5-66
☎(073)436-2111〈大代表〉

WT04945X01